

**令和8年度守山市当初予算
子育て施策等について**



当初予算案の規模

(単位：千円)

	令和8年度	令和7年度	増減額	対前年度比率	
予算総額	58,626,704	58,046,035	580,669	1.0%	
内訳	一般会計	36,800,000	36,820,000	▲20,000	▲0.1%
	特別会計	14,982,400	14,302,600	679,800	4.8%
	公営企業会計	6,844,304	6,923,435	▲79,131	▲1.1%

※公営企業は、収益的収支と資本的収支の合計です。

■ 国の補正により前倒して実施する3月補正（速野小学校長寿命化改良事業など）と合わせた場合の予算規模

当初：368.0億円 + 3月補正分：約5.2億円 ⇒ 約373.2億円

当初予算規模として368.0億円は**過去2番目**（昨年が最大規模）

守山市長期ビジョン2035がスタート！

計画期間：令和8年（2026年）～令和17年（2035年）

2035年に向けたまちづくりの姿勢

守山市では増加し続けてきた**人口の伸びが鈍化**し、将来的な人口減少は避けられません。人口減少は、**担い手不足**を招き、日常生活や地域社会の維持が困難になる可能性があります。急速に変化する社会情勢や複合化・複雑化した課題に対応するため、**既成概念にとらわれず、柔軟に対応**していくことが必要です。

将来都市像

守山市民憲章（普遍）

豊かな田園都市（50年先の目指すまちの姿）

【将来都市像】（10年後の目指すまちの姿）

私の『思い』がかなうまち

～ 守るために攻める サステナブルなまちを目指して ～

守山の豊かな自然、快適で便利な暮らし、人のつながりなどに惹かれて私たちはこのまちに暮らしています。「ふるさと守山」をこれからも大切に守り、次の世代へつないでいかなければなりません。

近年の地域活動の担い手不足、人口増加の鈍化等、大きく変化していく社会環境に柔軟に対応しつつ、「ふるさと守山」を守るためには、今が時代の転換点と捉えて、変化を恐れず攻める姿勢で挑戦することが必要です。

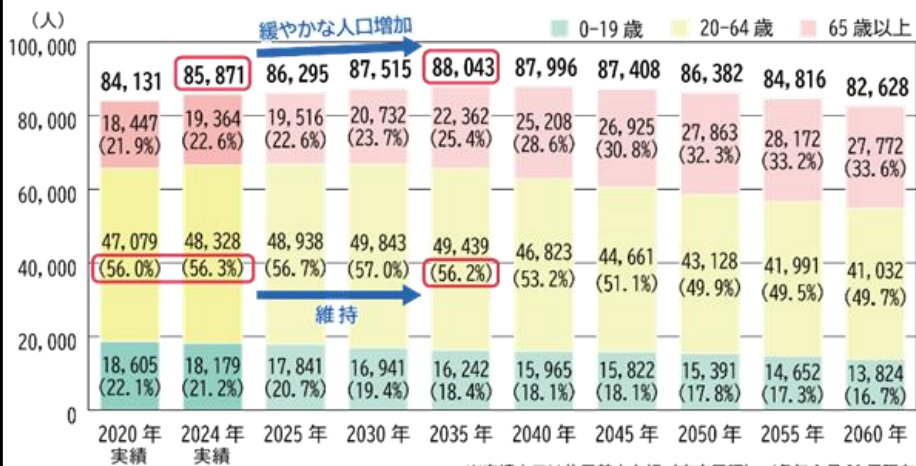
まちをつくる主人公は人です。

一人ひとりが夢やかなえたい思いを持つことができるような、また、その実現に向けた挑戦をみんなで認め、支え合うことのできるようなまちづくりに取り組み、まちの魅力をさらに高めることで、「守山に住んでいて良かった」、「また守山に戻ってきたい」と実感できるサステナブルなまちを目指します。

人口目標

令和17年（2035年）

88,000人



※実績人口は住民基本台帳（市市民課）／各年9月30日現在

守山市長期ビジョン2035の初年度となる令和8年度は、ビジョンに掲げる将来都市像、「私の『想い』がかなうまち」を実現するため、守山の将来を見据えた大規模プロジェクト（攻め）と市民に身近で寄り添ったきめ細かい施策（守り）を着実かつ丁寧に展開していきます。

守山の将来を見据えた大規模プロジェクト（攻め）

- 守山の将来像の議論・検討(P14)
 - 都市計画マスタープランにかかるガイドライン見直し
 - 区域区分等見直し検討業務
- 「琵琶湖線で1番魅力のある駅前」へ
 - 守山駅東口再整備事業(P15)
 - 西口ロータリー渋滞対策(P16)
- 小中学校プールの集約化(P17)
- 市民ホール大規模改修(P18)
- 子育て支援に係るハード整備
 - 北部子育て支援拠点施設整備(P10)
 - 大型児童センター改修(P21)
- 小中学校施設のハード整備(P23)
- 大門野尻線道路整備(P28)
- ほたるの森資料館建替事業(P36) など

市民に身近で寄り添ったきめ細かい施策（守り）

- 自治会や市民活動団体の活動支援の充実
 - 「わ」で輝く自治会応援報償事業(P7)
 - 美化支援、ごみのない美しいまち
- 地域での支え合いによる福祉活動の推進
 - 学区高齢者等たすけあい活動応援事業(P7)
 - もりやま「おたスケ」事業(P9)
- 子育て環境の充実
 - 地域で子どもを育てる仕組みづくり(P10)
 - 小中学校給食費の負担軽減(P22)
- 生活支援や相談支援体制、障害児の発達支援等の充実による障害者福祉推進(P25)
- 地域交通対策の充実(P27)
 - 持続可能な公共交通網のあり方検討
 - もりーカー運行補助金
- 総合的な空き家対策の推進(P11)
- 観光・体験・地域の魅力の向上と発信(P12)
- 防災・防犯による地域の安全・安心の確保(P30)
- 物価高騰対策(P13) など

令和8年度当初予算の施策4本柱

「4本柱」に基づき、将来を見据えた大規模プロジェクトと子育て環境や地域活動支援の充実など市民に寄り添った施策に注力した当初予算案となりました。

1. 子育てするなら守山！

※太字下線はクローズアップ事業

子育て環境の充実 **小学生の放課後の居場所づくり事業、北部子育て支援拠点施設整備、こどもの居場所・学習支援事業**
待機児童対策 保育士定着化・確保、認可保育園守山こども芸術大学の新規開所
教育施設大規模改修 **小中学校プール集約化**、小中学校照明器具LED化調査・設計業務

2. 住むなら守山！

福祉施策の充実 **もりやま「おたスケ」事業**、介護職キャリアアップ促進補助金、ひきこもり支援体制の充実
地域インフラの充実 美崎公園キャンプサイト整備工事、大門野尻線道路整備工事
地域防災・防犯力の強化 災害用備蓄品の整備、個別避難計画作成業務、防犯カメラ設置補助

3. 働くなら守山！

守山の将来像検討 **都市計画マスタープランにかかるガイドライン見直し、区域区分等見直し検討業務**
市内産業への支援 地域資源を活かした新商品開発補助金、もりやま夏まつり事業補助金
担い手不足への対応 人材確保支援事業費補助金、農業人材のマッチング

4. 市民が主役の守山！

地域活動支援の充実 **学区高齢者等たすけあい活動応援事業、ごみ集積所整備事業補助金、総合的な空き家対策**
文化活動の拠点整備 **守山市民ホール大規模改修事業**
観光・地域の魅力向上 **デジタルツインジャパン(DC)PR推進事業、地域の小さな観光資源・体験資源創出および発信事業**
環境学習都市への取組 再エネ・省エネ設備等導入促進補助金、ほたるの森資料館建替実施設計業務

地域で子どもを育てる仕組みづくり

小学生の放課後の居場所づくり事業 7,931千円

令和9年度から玉津小学校および中洲小学校にて放課後の居場所事業を開始するために必要な制度設計・学校施設整備の準備等を行います。また、居場所で実施する体験活動は地域学校協働活動事業と連携して展開します。



地域学校協働活動事業 605千円

地域と学校が連携・協働し、地域や保護者等の「こども応援団」の参画により地域全体でこどもたちの成長を支える地域学校協働活動を推進します。

市内における子育て支援事業の展開 6,723千円

子育て環境の充実を図るため、市の南部・中部・北部の3地域にて各種子育て支援の充実を図ります。

（拡充）こどもの居場所・学習支援事業 4,228千円

居場所を必要とする子どもを支援するため、学習できる場所、安心できる場所、人とつながれる場所の充実（南部でのみ実施⇒北部（通年実施）、中部（モデル実施））を図ります。

〈実施スケジュール〉

	令和7年度	令和8年度
通年実施	南部（浮気町）	南部（浮気町） 北部（速野公民館）
モデル実施	北部（速野公民館）	中部（すこやかセンター）

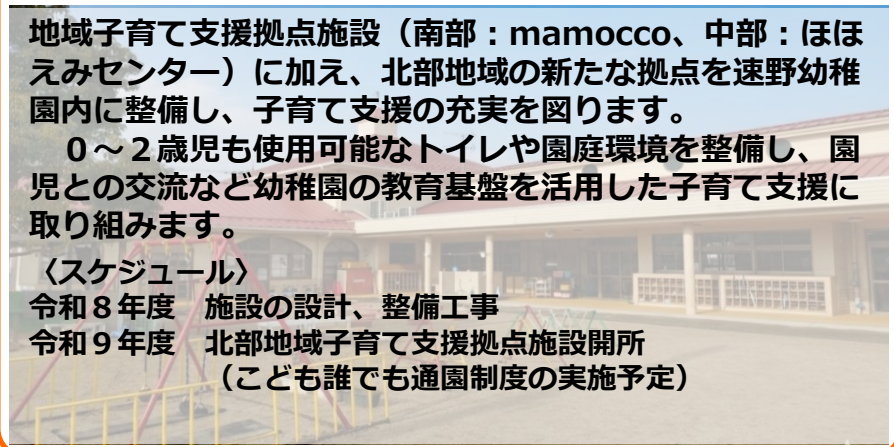
（新）北部子育て支援拠点施設整備事業 2,495千円

地域子育て支援拠点施設（南部：mamocco、中部：ほほえみセンター）に加え、北部地域の新たな拠点を速野幼稚園内に整備し、子育て支援の充実を図ります。

0～2歳児も使用可能なトイレや園庭環境を整備し、園児との交流など幼稚園の教育基盤を活用した子育て支援に取り組みます。

〈スケジュール〉

令和8年度 施設の設計、整備工事
令和9年度 北部地域子育て支援拠点施設開所
（こども誰でも通園制度の実施予定）



小中学校プールの集約化

市民が主役の守山！

子育てするなら守山！

予算 94,220千円（国47,110千円、債26,800千円、他6,000千円）

小中学校のプール授業における「安全で計画的な授業の実施」「水質管理など教員の負担増加」「老朽化の改修・維持管理費用の増大」などの様々な課題への対応や市民の運動機会、交流機会の創出のため、各小中学校の屋外プールを個別に改修するのではなく、新たに守山市民運動公園内に屋内温水プールを整備し、集約化します。

R7 基本設計

R8 実施設計 66,220千円
先行解体 28,000千円

R9 ※概算工事費 約19億円

R10.5 供用開始予定



施設全体をユニバーサルデザインで設計。学校利用のみならず、市民同士の交流機会を創出するため、多目的スペースやコモンズエリアを配置。R8年度は整備予定地の交通園等を撤去し、施設整備に向けた準備と建物本体の実施設計に着手。施設周辺については、自然に人が集い、多世代が交流できる場所として、また、災害時には地域の防災拠点として活用。

市民が主役の守山！

子育てするなら守山！

守山市民ホール大規模改修事業

予算 500,627千円（国52,543千円、債42,800千円、他342,000千円）

『つながる かがやく』市民ホールへ 生まれ変わります！！

屋内広場



	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
基本設計	設計者選定	基本設計	実施設計	入札準備	★竣工引き渡し
実施設計				施工期間	
工事施工				休館期間	★11月開館

2階回廊+屋内広場



大ホール2階ホワイエ



小ホール



令和7年度に行った基本設計等を踏まえ、令和8年度は実施設計に取り組み、市民が「**ふらりと立ち寄り交流が生まれ、文化芸術に触れ創造発信できる**」施設を目指します。また、休館中においても市民が文化芸術に触れる機会を創出します。（**令和9年度～令和11年度初旬まで休館予定**）

早期の待機児童ゼロを目指した待機児童対策

予算 215,616千円 (国8,784千円 県30,986千円)

保育士の確保と定着化に関する支援を引き続き実施

確保
・
定着化

1 保育士への支援 (民間園勤務等条件あり)

- ① もりやま手当 (市独自の手当支給) **〔R6拡充〕**(民) 57,539千円
- ② 新規採用保育士等臨時給付金 **〔R5拡充〕**(民) 18,800千円
- ③ 保育士等奨学金返還支援事業費補助金 **〔R5拡充〕**(公)(民) 8,400千円
- ④ 保育士保育料補助金 **〔R5創設、R6幼稚園教諭拡充〕**(公)(民) 7,923千円
- ⑤ 低年齢児保育事業 (国基準以上の職員配置)(公)(民) 71,403千円
- ⑥ 保育ソーシャルワーカー **〔R6新規〕**(公) 1,387千円

『確保・定着化』
予算合計
215,616千円

2 民間園への支援

- ① 保育補助者雇上強化事業補助金 **〔R7新規〕** 29,292千円
- ② 宿舍借上げ支援事業費補助金 **〔H29～〕** 15,372千円
- ③ 保育士等確保事業費補助金 **〔R2～〕** 5,500千円

早期の待機児童ゼロを目指し、**滋賀県地域限定保育士も補助対象**とします。

認可保育園守山こども芸術大学が開所します

待機児童対策の早期解消として、令和8年4月から0歳から5歳児を対象とした私立保育園が立入が丘小学校の隣に開所されます。

- ・設置場所: 守山市立入町251-1
- ・定員: 90名



子育て環境の充実

予算 145,300千円（国27,130千円 県17,712千円 他83,423千円）

地域子育て支援拠点施設「mamocco（まもっこ）」44,251千円

「気軽に立ち寄り『交流・相談・息抜き・学べる』子育て広場」をテーマに、子どもの発育に応じた遊具等で、安心して遊ぶことができ、子育て中の親子が気軽に集い、交流や子育ての悩みを相談できます。

【施設の機能】

- ・遊びの広場、多目的室、相談室など
- ・子育て相談
- ・一時預かり、こども誰でも通園制度
- ・多目的室を子育てサークル等の活動の場として提供
- ・子育て情報の発信



利用登録者数 5,549名（1月末時点）

所在地：守山市梅田6番2号
フレンドタウン守山2階

(新)こども誰でも通園制度 8,000千円

【対象】

保育所、認定こども園、地域型保育施設、企業主導型保育施設に在籍していない生後6か月から満3歳未満の子ども
※詳細は決定次第、市ホームページ等でお知らせいたします。

大型児童センター(ほほえみセンター)改修事業

93,049千円

設置から24年が経過したことを踏まえ、トイレの洋式化等の施設の充実をはじめ、長寿命化を図ります。

〈主な改修内容〉

- ・屋根工事
- ・トイレの改修工事
- ・照明のLED化



就学援助費の算定基準の見直し

従前の生活保護基準×1.2 ⇒ 直近の生活保護基準×1.4

経済的理由によって就学にお困りの家庭に支給している就学援助費について、子育てや教育関連に要する家計の負担等の現状等を踏まえ、物価変動等社会状況への変化に対応し、支援を必要とする人に必要な支援が届くよう認定基準を見直します。

風とみどりの園庭プロジェクト 340千円

近年、夏の猛暑の影響により、十分に戸外遊ぶができていないことから、園庭環境の充実（緑を増やして日陰を作る等）を図り、幼児の「心と体の発達」、「情緒の安定」を育みます。

対象園：公立幼稚園
〈スケジュール〉

令和8年度：園庭プロジェクト立ち上げ、専門家からの指導、研修
令和9年度～：各園で実践、公開保育
令和12年度：成果と課題の整理、次のステップを検討

1年を通して遊べる園庭環境づくり



子どもが遊びを作り出す環境づくり



【期待できる効果】

- ・心が動き遊びたい思いがあふれる
- ・経験がつながって遊びが深まる
- ・身体の育ちと心の育ち（非認知能力）につながる
- ・SDGsの学びと命のつながりを感じる
- ・葉っぱ1枚で園と家庭と地域につながる
- ・保育者の資質向上につながる

子育てするなら守山！

給食提供による食育環境の充実

予算 635,036千円（国47,955千円 県324,652千円 他（給食費）222,691千円）

小中学校給食の負担軽減

食材費 547,036千円（うち、負担軽減交付金307,565千円、
物価高騰交付金47,955千円）

国の小学校給食費の抜本的な負担軽減策（児童一人あたり月額5,200円の支援）および物価高騰交付金を活用し、小学校の給食費を「**実質無償化**」。また、中学校の給食費においてもR7改定前の月額4,900円に「**据え置き**」し、保護者負担の軽減に努めます。引き続き、安全安心な、おいしく温かい**自校方式**での学校給食の提供に取り組みます。

幼稚園給食外部搬入委託

80,000千円

令和7年度から開始した幼稚園給食について、安定的に給食を提供するだけでなく、食育活動や保護者への情報発信を通じ、より充実した給食提供を行います。

（新）小中学校給食における生鮮物資配送業務

8,000千円

学校給食に使用する生鮮物資の納品箇所を13校から4中学校へ集約し、小学校分の生鮮物資の配送を別途、業者へ委託することで、生鮮業者の配送負担を軽減し、新規参入業者の確保に努め、その上で、生鮮物資の価格および供給の安定を図ります。

生鮮業者



市内4中学校

配送業者



市内9小学校

子育てするなら守山！

小中学校施設のハード整備

予算 319,375千円（国 36,839千円、債179,400千円、他14,000千円）

（新）小中学校照明器具LED化調査・設計業務

3,300千円

一般照明用蛍光灯の製造が令和9年に終了となることを受け、令和14年度までに予防改修工事等が見込めない小学校3校（立入が丘、吉身、河西）において、照明器具のLED化に向けた設計業務に取り組みます。

（新）玉津小学校校舎予防改修事業

9,111千円

建物の長寿命化を図るため、**予防的な改修**(防水塗装・照明器具のLED化・空調設備更新・トイレ改修等)に必要な設計に取り組みます。

速野小学校長寿命化改修事業(第2期)

197,364千円（R8.3月補正）

今年度整備中の北校舎以外の校舎部分について、教育環境の充実を図るため、**照明器具のLED化およびトイレ改修**を行います。

安全・安心な教育環境

校舎等の適正な維持管理を図り、児童生徒の安全・安心な教育環境を確保します。

- ・ **立入が丘小学校校舎防水・体育館床改修事業** 80,500千円
- ・ **明富中学校校舎防水改修事業** 29,100千円


障害福祉サービスの充実

予算 2,837,719千円（国 1,050,569千円、県 525,284千円）

障害児通所サービス事業

738,843千円

児童福祉法に基づく児童発達支援や放課後等デイサービスなどの障害児通所サービスの給付を行い、発達支援や相談支援の充実を図ります。

- 
- ・児童発達支援事業
46,817千円
 - ・放課後等デイサービス事業
675,957千円

物価高騰対策（第3弾）

住むなら守山！

予算 113,884千円（国113,884千円）

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、給食費、エネルギー、中小企業、農水産業など、重点的に支援を行います。

第1弾（R7年12月補正） 物価高対応子育て応援手当【こども一人当たり 一律2万円給付】

第2弾（R8年1月補正） 物価高騰対応家計サポート給付金事業【市民一人当たり 一律5,000円給付】

第3弾

給食費支援

- 小中学校給食費価格高騰対策支援金 47,955千円
- 保育所等食料品価格高騰対策支援金（私立園・公立園） 26,929千円

住むなら守山！

状況に合わせたアウトリーチによるひきこもり支援

予算 7,681千円 (国3,840千円、県1,920千円)

ご本人やご家族の状況に合わせ、関係機関と連携し、寄り添った支援を行います。

個別相談
アウトリーチ

【拡充】

相談
居場所
安心できる場所

相談
居場所
収入を得られる
場所
(おこづかい)

相談
居場所
収入を得られる
場所
(生活費)



ご本人の状況 (目安)

- ・自宅から出られない
- ・家族以外とは話せない

- ・慣れた場所なら外出できる
- ・慣れた人とは話せる

- ・必要があれば外出や会話ができる
- ・収入を得たい、仕事に就きたい気持ちがある

○ 支援の全体像 ○

＜相談支援＞

- ・専任の相談員の配置(週5日)
- ・アウトリーチ支援 (自宅訪問や本人・家族が活動しやすい場所での面談等)
- ・就労体験受入れ企業等への謝礼金

【拡充】

・相談支援と連動した居場所運営のための体制強化

(R7 : 6,566千円 → R8 : 7,681千円)

＜居場所づくり＞

- ・守山ほたるサポート事業 (社協)
- ・ほたるの広場 (社協)
- ・Café Ink MORIYAMA (Mitte)
- ・セレクト-select- (市)

不定期 ⇒ 週1回開催 他



＜当事者会 家族会の開催＞

- ・内職、調理実習
- ・農作業、工場見学、体験作業
- ・就労体験 他

＜普及啓発等＞

- ・守山市ひきこもり支援ガイドブックの発行
- ・企業訪問、市広報、ホームページ、SNS等での理解の促進 他



(新) 発達支援システム基本方針の策定

発達支援課では乳幼児期から青年期・成人期までを対象として、教育・福祉・保健・医療・就労等の各施策および関係機関が連携した専門的支援を実施しています。基本方針は、支援の方向性やその内容を定めるものです。

【期 間】

年度	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	
計画期間	(新) 発達支援システム基本方針						
				↑ 中間見直し			
	(仮) もりやま障害福祉プラン2027			(仮) もりやま障害福祉プラン2030			

令和8年度	取組・スケジュール
4月～7月	事業評価、利用者・校園等の調査実施
8月～10月	骨子(案)作成
11月～12月	素案作成
1月～3月	時期方針(案)作成

守山市発達支援システムとは、障害や心身の発達に遅れや偏りのある人(疑い含)やその保護者が、

- ① 継続した相談や専門的指導を受けられる
 - ② 個別支援計画に基づいた支援を継続的に受けられる
 - ③ 関係機関が連携して乳幼児期から青年期・成人期までの一貫した支援を受けられる
- 仕組みのこと

支援が必要な人の課題を把握し、課題解決に向けての目標や支援の手立てを記載し、実際の支援へつなげ、次のステージに引き継いでいくための計画



保健

- 妊娠期から乳幼児期までの一貫した支援
- 早期発見、早期支援の取組

保育・教育

- 子どもの発達課題や発達特性への気づき、見立て、支援
- 発達段階や特性に合わせた支援

教育

- 学校生活等を通して子どもの発達課題や発達特性への気づき、見立て、支援
- 発達段階や特性に合わせた支援

就労・社会参加

- 生活支援
- 社会参加に関する支援
- 居場所支援
- 就労支援

医療

- 発達課題や特性について、専門医による診断、投薬、助言など

福祉

- 障害者手帳等各種制度支援
- 相談支援事業所、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、障害福祉サービス事業所等による支援